

令和 5 年度第 1 回半田市図書館協議会議事録

開催日時	令和 5 年 7 月 7 日（金）	1 4 時 0 0 分～1 5 時 3 0 分
開催場所	半田市立図書館 第 1 会議室	
会議次第	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 挨拶 4. 正副会長の選任 5. 議題 【報告事項】 （1）令和 4 年度図書館利用状況等について （2）令和 5 年度予算及び事業予定について （3）第 2 次半田市子ども読書活動推進計画について 6. その他	
出席委員 （欠席委員）	出席委員 （会長）間瀬進（副会長）原田眞偉子 （委員）大橋雅美、大橋美哉、尾崎直利、戸田裕美、仲澤秀人、新美陽美、松岡登久子、（北中美郷） ※敬称略	
教育部	教育長 鈴川 慶光、教育部長 森田 知幸	
事務局	図書館長 齋藤政樹、副主幹 田村元成、主査 竹内由香、主事 永田知丈、太田絢香	
次 第	議事概要	
1. 開会		
2. 委嘱状交付		
3. 挨拶	教育長	
4. 副会長の選任	副会長に原田眞偉子委員を選任。	
5. 議題 【報告】（1） 令和 4 年度図書館利用状況等について	（事務局） ・令和 4 年度図書館利用状況等について事務局から説明。質問は特になし。	

【報告】（２） 令和５年度予算 及び事業予定につ いて	（事務局） ・令和５年度予算及び事業予定について事務局から報告。 （会長） ・只今の事務局の説明について、ご意見等ないか。 （委員） ・貸出文庫は、令和５年度予算概要の中で、どこに位置づけられているか。 （事務局） ・図書館資料整備事業の資料購入費に位置づけられ、本館、分館、巡回文庫の資料と電子書籍も含まれる。なお、貸出文庫については、設置場所を図書館概要の９ページ、利用実績を２０ページ、資料数を１７ページに掲載している。 （会長） ・令和５年度予算概要の科目について、職員出張旅費という昨年度にはない科目が記載されているが、どのような事情からか。 （事務局） ・職員の出張旅費は、今まで「その他」枠で集計していたが、図書館職員が、愛知県が主催する研修などに出席し、図書館の運営に役立つ技術や情報を習得していることがわかるように分割して掲載した。
【報告】（３） 第２次半田市子ども読書活動推進計画について	（事務局） ・第２次半田市子ども読書活動推進計画について事務局から報告。 （会長） ・只今の事務局の説明について、ご意見等ないか。 （委員） ・タブレットが各小中小学校の生徒個々人に配布された。コンテンツの問題もあると思うが、例えば夏休みの課題図書、電子図書での閲覧は可能か。 （事務局） ・課題図書の電子書籍は用意ができない。市販されている本の全てが図書館用の電子書籍として購入できるわけではない。電子書籍の選書の幅は非常に狭いことから、図書館での利用実績を参考にしたり、また、調べ学習に使ってもらえそうなものを選んで購入している。 （委員） ・今の子どもたちは複雑なシステムでも、当たり前のように使いこなしている。図書館にわざわざ足を運ばなくても簡単に図書を閲覧できるこのシステムを、有効に活用していただきたい。 （会長） ・図書館見学や職場体験の受入について、達成できなかったことの問題点のこ

	ントとして、多くの学校が職場体験の積極的な参加には慎重のようだ」と記しているが、これはどういうことか。 （事務局） ・市内のほとんどの中学校から職場体験の参加申出がなくなり、昨年一昨年と続けて申出が一校にとどまった。学校側も校外学習のあり方について見直しをしているのではないかとと思われる。 （教育部長） ・コロナ禍以前と以後で、市内の店舗や図書館のような公共施設に中学生が外向き現場の体験をする、いわゆるキャリア教育に対する学校側の考え方・やり方が変わったことが、職場体験の申出が減少したことの大きな要因としてあげられる。 （委員） ・いろいろ講座の集客がうまくできないということだが、有名な作家を呼んではどうか。予算のこともあると思うが、一度有名な作家を招いて講座を開くと、以後の図書館の事業に注視してくれると思う。他の図書館では特別な P R をしなくても、例えばカウンターに置かれた関連本を見て知った程度のことで集客ができています。半田市の P R 方法に、特別問題はないと思う。 （事務局） ・講師予算の件について一点補足する。行政の直営と、指定管理者制度を導入して運営している図書館とでは、予算の使い方の融通性に差がある。当館は市の直営ということで、市の予算方針に沿うため、予算の使い方に融通が利かないところがある。 （委員） ・そういうことについては、どこに話をするといいか。 （教育部長） ・難しい問題と思っている。例えば、冒頭で述べた施設改築についても、指定管理者制度を導入すれば、予算面で、かなり融通が利くようになるが、一方、サービスの質が低下する恐れがある。来館者数についても、ただ増えればいいというなら、著名な作家を招き、著書を並べる或いは漫画を並べるといったことをすれば来館者数は増えるが、では、図書館のあり方としてはどうか、ということになる。
6. その他	（会長） ・議題以外で、図書館への要望など、その他意見はあるか。 （委員） ・この建物の雨水の漏水の解消はいつ頃になるか。 （事務局） ・原因の特定とその解消のために、現在業者に確認してもらっている。現時点で

は明確には答えられない。

（委員）

・ボランティア活動用の建物倉庫内に保管している本や道具が長期間湿気にさらされることになり、使用できなくならないか心配である。週に1度はボランティアも来館するため、状態の確認は可能ではあるが、雨はいつ降ってくるかわからない。図書館にも道具などの管理をしていただけるとありがたい。

（事務局）

・十分に注意して管理する。

（委員）

・当会会員には、会計年度任用職員として図書館に3名勤務しているが、としょかんまつりの折に、その3名は図書館勤務があるため、まつりのワークショップには参加ができず、当会としては人手不足で大変困っている。催し物のときには、職員の勤務体制に配慮をしていただきたい。

（事務局）

・職員の勤務体制については、いまの話を参考に検討する。

（会長）

・その他意見はあるか。

（委員）

・読み聞かせ会については、エントランスホールで開くことを継続する方針とのことだが、絵本コーナーで読み聞かせを行えるようになるのは、いつからになるか。コロナ禍の状況が改善された後も、絵本コーナーでは読み聞かせができないということか。

（事務局）

・絵本コーナーで読み聞かせを行うと、他の来館者が、そこに配架されている本の閲覧ができない。館内でも話し合いはしたが、読み聞かせ会は、引き続きエントランスホールで開いていただくことでまとまった。

（委員）

・承知した。持ち帰り当会で相談してみる。ところで、図書館は今年で開館40周年を迎えるが、何か開催する予定はあるか。

（事務局）

・これは図書館だけでなく、博物館と併せて行うことになる。現在検討中である。

（委員）

・としょかんまつりの開催が20周年を迎えるが、やり方なり開催内容を変えてはどうか。当初は、多くの小学生が参加してくれていたが、近頃は参加される子どもたちの年齢が下がってきている。特に乳幼児連れの親が多く、小学生向けの読み聞かせが難しくなっている。20周年の節目に、再考していただきたい。

（事務局）

	・としょかんまつりの開催にあたっては、事後にご意見をいただいているので、担当と相談し、それを反映させる体制を整えたい。そちらでご報告する。 （会長） ・第 1 回半田市図書館協議会を終了する。
	（終了）